

国際法学会 2021 年度研究大会における公募（個別報告）について

2020 年 12 月 10 日  
研究企画委員会

新型コロナ・ウィルス流行のために 2020 年度研究大会は開催されなかったことに伴い、同研究大会への公募（個別報告）へ応募され、研究企画委員会による審査の結果、2020 年 4 月に採用が決定された下記の方々には、2021 年度研究大会において報告をお願いすることとなりました。

なお、肩書きは、応募当時のものであり、また順番は必ずしも報告順ではありませんので、その旨ご了解ください。

記

- (1) 松隈 潤（東京外国語大学大学院総合国際学研究院教授）  
「食料への権利の現代的課題——域外義務を中心に」
- (2) 小坂田 裕子（中京大学法学部教授）  
「入管収容の合法性審査における個別事情の考慮——欧州人権裁判所判例の発展と課題」
- (3) 福井 康人（広島市立大学広島平和研究所准教授）  
「核セキュリティ分野の国際法及びその国内実施——日本を事例として」
- (4) 保井 健呉（同志社大学研究開発推進機構及び法学部特別任用助手）  
「海戦法規の『人道化』——海上経済戦における展開」

以上